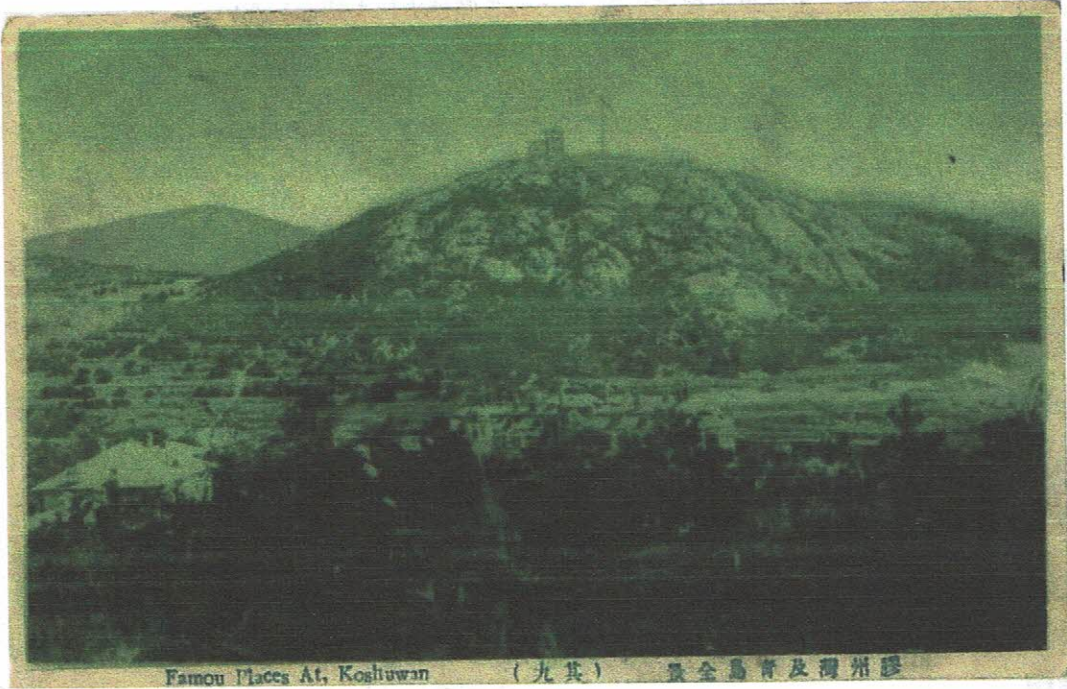


# 153

2019. 1. 20

# 長崎郵趣



第一次世界大戰終結百周年  
和田進

# 第1次世界大戦終結100周年

佐世保地方総監部企画調整専門官 和田 進

## 1 はじめに

平成30年11月11日は、第一次世界大戦が終結してから100周年となる節目の日である。これを記念し佐世保の地では、第一次世界大戦でも発揮された日米協力の重要性を改めて確認するため、在佐世保米海軍主催の下に記念式典を開催する運びとなった。そこで今回は様々な史料を用いて、第一次世界大戦を振り返ることとした。

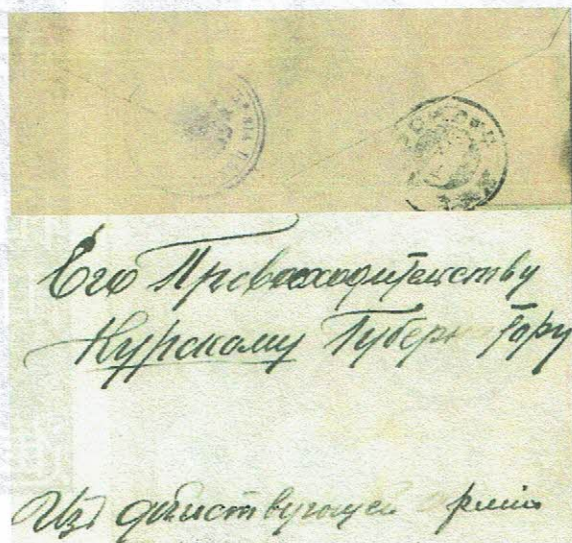
### 「世界大戦戦捷記念章」



第一次世界大戦に従軍した軍人等に配布された勲章で、左が日本、右がアメリカのもの。両国の記念章裏面にはともに、戦勝国である日本とアメリカの国名が刻まれている。

## 2 連合国

大正3年7月28日から大正7年11月11日に至るまで、「連合国」と呼ばれたロシア、フランス、大英帝国、イタリア、日本、そしてアメリカと



いった国々は、「同盟国」と呼ばれたドイツ帝国やオーストリア=ハンガリー帝国などと戦闘状態にあった。そこでまずここでは、連合国にまつわる郵便史料を紹介したい。

### a) ロシア

【第134歩兵連隊からクルスク宛て】（左下）

ロシアはオーストリアからセルビアを守るため1914年に参戦したが、革命勃発により1917年に撤退した。

到着印：グルスク1915. 4. 4

★★★

部隊印：第134歩兵戦湊ンダルエヴ

### b) フランス

フランスは戦争中、ロシアを除く連合国軍の中では最多となる136万人の戦死者を出した。絵葉書中の肖像は、ポワンカレ仏大統領。



### c) 大英帝国

大英帝国はフランスと共に参戦したが、世界各地の植民地から多くの兵力をまかなった。フランス宛アメリカ宛てイギリス検閲封筒消印はイギリスS52野戦郵便局のものであり、大正7年5月9日印

検閲印は王冠を配した角印

封緘紙印字は「検閲により開封

封筒はアメリカYMCA提供A



【オーストラリア発日本宛て封筒】

消印はクイーンズランド大正8年8月のものであり、標語部分の文字は「復員の手助けに戦時国債を買おう」

到着印は「千葉・牛久8.8.19前0-8」



d) アメリカ

アメリカは初め大戦への参加を拒否していたものの、開戦3年後の大正6年になり漸く連合国の一員として参戦した。

【欧州戦線派遣米軍発ペンシルベニア州宛て封筒】

消印はアメリカ717野戦郵便局のものであり、大正7年12月28日印 検閲印は国鳥の白頭鷲



e) イタリア

イタリアは初め同盟国側で参戦していたが、途中で連合軍へと鞍替えし君主制を守り抜くことに成功した。絵葉書中の肖像は、ヴィットーリオ・エマヌエーレ伊国王。



3 同盟国

同盟国の主たる構成国家はドイツとオーストリア ハンガリーであった。



a) ドイツ

ドイツ皇帝ヴィルヘルム2世は度重なる失政で帝位を追われドイツも領土を縮小されることとなった。

その後、大戦の英雄であったヒンデンブルグが大統領となり、約10年に及ぶ長期政権を確立することとなる。



【ドイツフランクフルト発スイスベルン宛て封筒】

消印はフランクフルト局のものであり、大正4年6月15日印

朱印は赤十字フランクフルト支部のもの 肖像はヒンデンブルグ

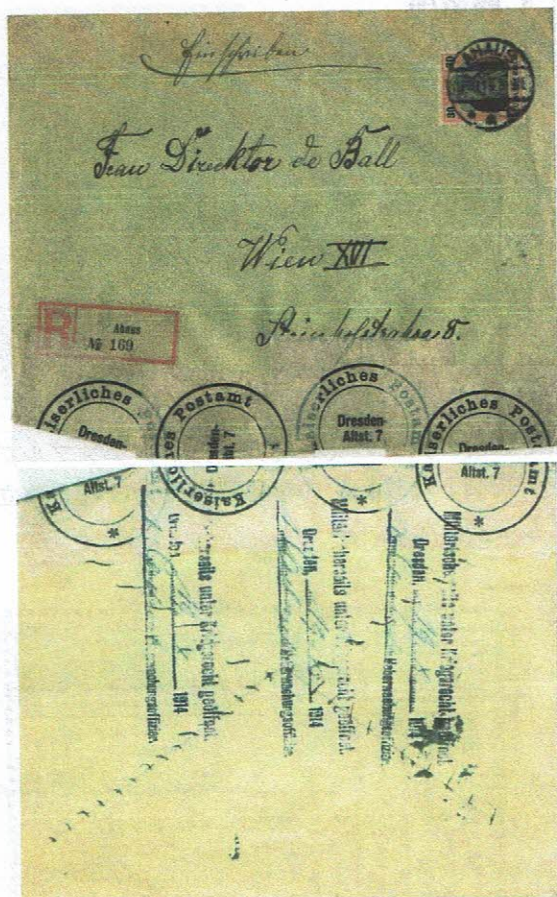
b) オーストリア=ハンガリー

首都をウィーン及びブダペストにもつオーストリア ハンガリー帝国はフランツ・ヨーゼフ1世の下で繁栄したが、多数の民族問題を内包しており第一次世界大戦後に解体され、8か国へと分裂した。

【ドイツアーハウス発オーストリア=ハンガリーウィーンて検閲封筒】

消印はアーハウス局のもので、大正3年10月17日印

封緘紙印字は「ドレスデン下町7号」



#### 4 日本での第一次世界大戦

日本人を含め、多くの人が第一次世界大戦中に日本が果たした役割について知らないままでいると思われる。日本政府は連合国の一員として地中海への艦隊派遣を行ったほか、当時ドイツに占領されていた青島の駐留部隊と戦うために膠州湾へも軍隊を派遣した。最終的には3万人を超える派兵が行われたが、このうち800名ほどが戦死している。

【青島攻略作戦】※表紙下

大正3年10月31日、青島攻略作戦が開始された。攻撃までに2か月をかけて挑んだこの戦いは、1週間で日本の勝利に終わる。戦後、5000人を数えるドイツ人捕虜は日本各地に収容され丁重な扱いを受けたが、これは映画「バルトの楽園」でも見ることが可能である。この絵葉書は、膠州湾陥落を記念してつくられたもの。

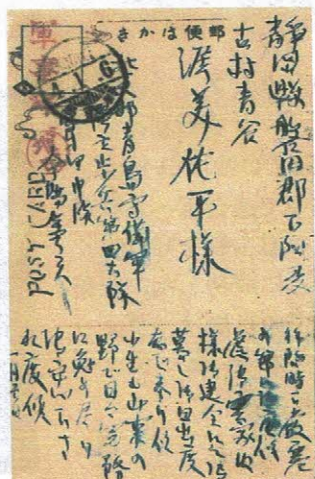
【青島守備隊発静岡宛て絵葉書】

写真：膠州湾及び青島全景 ※表紙上

消印：第五野戦局

4. 1. 6

送信者：北支那青島守備軍独立歩兵第四大隊第四中隊隊員



#### c) 同盟国に於けるインフレ

終戦後、ドイツを筆頭に旧同盟国では急激なインフレが生じた。ドイツの中央銀行はこの問題に対処すべく奮闘していたが、一方で多くの都市銀行やそれに代替する主体が、独自に低額面の紙幣を地域内のみでの使用を目的に発行したのである。今回はそういった紙幣を2頁に亘って展示するので、図柄等の豊かさを楽しんでもらいたい。



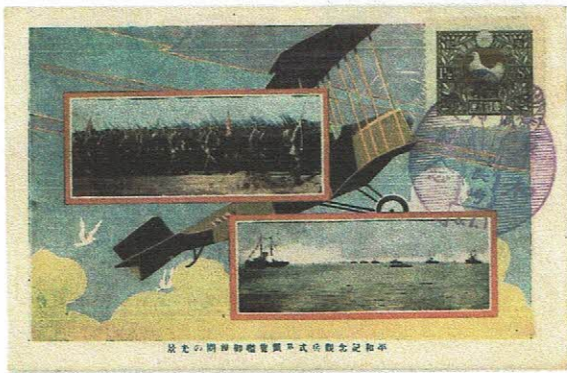


【青島守備隊発  
東京宛絵葉書】

写真:イルチス山  
麓敵の偽砲  
消印:青島 8. 11,  
14

送信者:青島守備  
軍万年兵營第一  
中隊隊員

※「万年兵營」  
とは清朝末期に  
膠州湾防衛を目的  
として作られた  
兵士駐屯所で、ドイツによる青島の租借後には「ビスマルク兵營」と改称され、更に日本軍による青島占領後には「万年兵營」と改められた。



【新兵器:航空機と潜水艦】

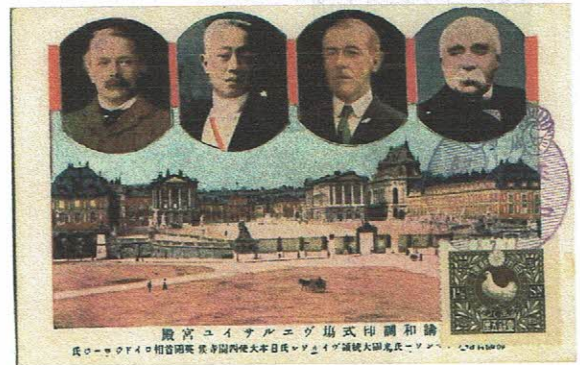
大戦中には、新しい兵器として航空機と潜水艦が積極的に使われた。上段絵葉書の背景には



航空機が描かれており、もう一方の絵葉書には日本の帝国海軍に鹵獲されたドイツ軍の潜水艦が描かれている。

5 世界大戦後

大正8年、フランスのヴェルサイユ宮殿に於いて講和会議が開かれた。同盟国の中心であったドイツ帝国には巨額の賠償金が課され、さらに領土の割譲も要求されたのである。これらが第二次世界大戦の遠因になったとも言われており、我々はこれを教訓にしなければならないだろう。



【パリ講和会議】

肖像:(右から)クレマンソー仏首相、ウィルソン米大統領、西園寺全権大使、ロイド・ジョージ英首相

世界戦役講話条約調印記念 大正8年6月28日 造幣局製



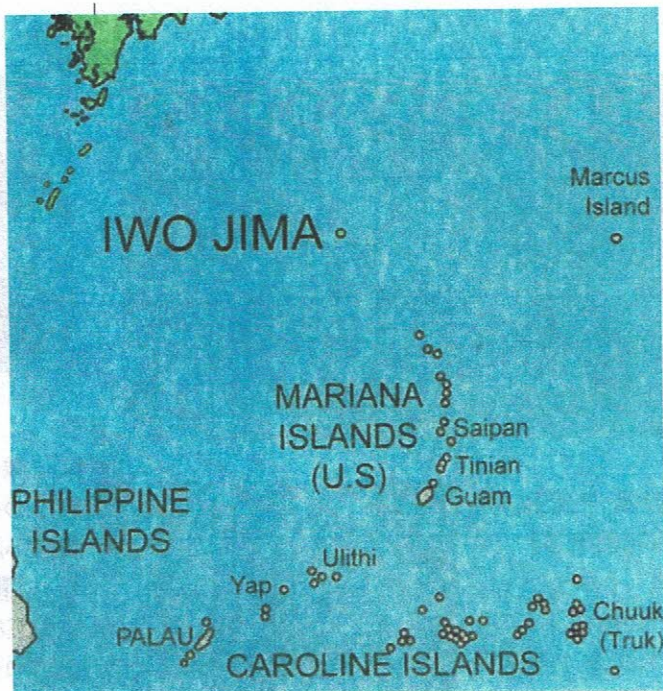
## 【南洋諸島統治開始】

平和条約締結後、日本はドイツに代わって南洋諸島の統治を昭和20年まで行った。

上の葉書は、「南洋群島始政十年記念」の特印を昭和3年7月1日にサイパン郵便局で押したもの。(下には消印部分をトリミング。以下次ページまで同じ)



下の絵葉書は、「平和記念」の特印をサイパン軍用郵便所で押したもの。



## 【南洋諸島に於ける郵便事業の開始】

日本はこの地域に於いて、昭和20年まで郵便事業を行った。以下に数点、この地域で使用された記念の消印等を紹介したい。

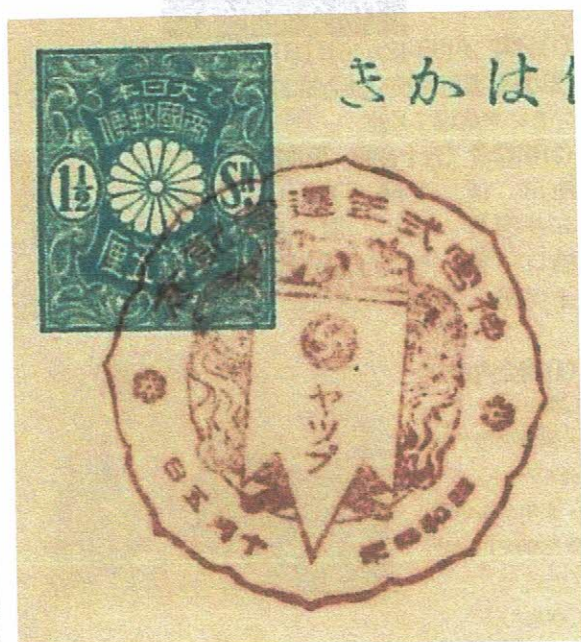
これらを見て、皆さんには少しでも歴史に思いを馳せてもらえると幸いである。



明治神宮鎮座十周年記念印  
トラック 昭和3年11月1日



官幣大社南洋神社鎮座祭記念印  
アンガウル昭和15年11月1日



ヤップ昭和4年10月5日



パラオ昭和4年10月5日



ロタ昭和9年10月1日